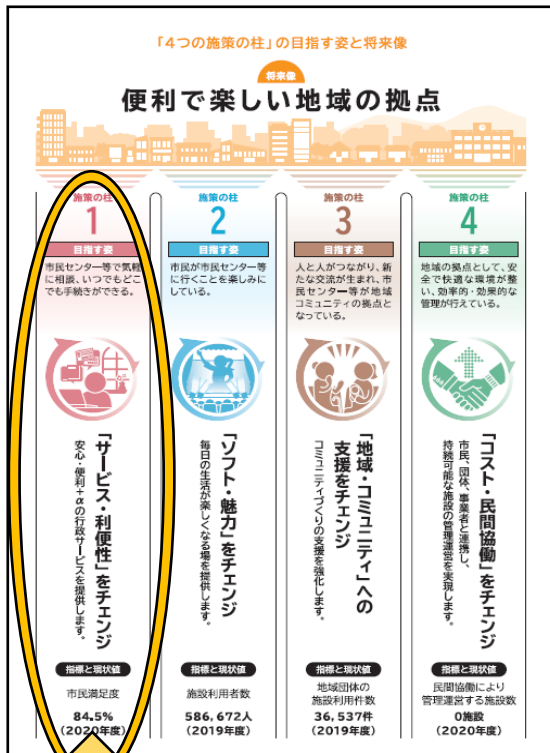


市民センター等の未来ビジョン通信 - No.3 -

～「サービス・利便性」をチェンジ～

2022年10月 町田市

□「サービス・利便性をチェンジして、＜便利で楽しい地域の拠点＞へ！」



市民センター等の未来ビジョン通信（以下、ビジョン通信）の前号でも紹介しましたが（※ビジョン通信のバックナンバーはホームページにて掲載しています。）市民センター等を取り巻く環境は、公共施設の老朽化による維持管理費の増大や、少子高齢化等による市民センター等に対するニーズの変化など、今後ますます変化していくことが予想されています。

「町田市市民センター等の未来ビジョン」では、そういった変化に柔軟に対応し、市民センター等が＜便利で楽しい地域の拠点＞となるように、4つの施策の柱を設けています。

今号では、1つ目の柱である「サービス・利便性をチェンジ」について、町田市が行っている具体的な取り組みを紹介します。

～サービス・利便性をチェンジの方向性～

①行政手続きのデジタル化の推進

- 【施策1】マイナンバーカードの普及促進
- 【施策2】マイナンバーカードの申請の支援
- 【施策3】キャッシュレス決済の導入

市民のみなさんが、いつでもどこでも、安心して手続きができるような、行政手続きのデジタル化を推進します！

行政手続きや、生活に関する悩みごとについて、市民のみなさんが気軽に相談できる体制を整えます！

②手続きのための窓口から相談窓口への転換

- 【施策1】証明書発行機能の見直し
- 【施策2】行政窓口での相談・支援

フリースペースや、インターネット環境の整備など、市民のみなさんが使いたくなるような環境の充実を図ります！

③市民センター等の機能等の見直し

- 【施策1】施設ごとの機能等の見直し
- 【施策2】インターネット環境の充実

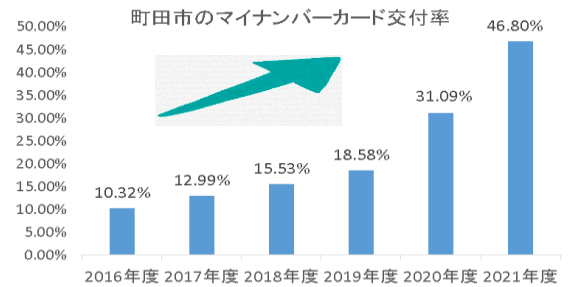
行政サービスのデジタル化

市役所の手続きは手間と時間がかかる…。そういったイメージを持っている方も多いのではないでしょうか？

町田市では、出向く手間、書く手間をなくすため、行政手続きのオンライン化やキャッシュレス決済の導入を進めています。これらにより、市役所に出向かなくても用が足りる環境づくりを推進しています。



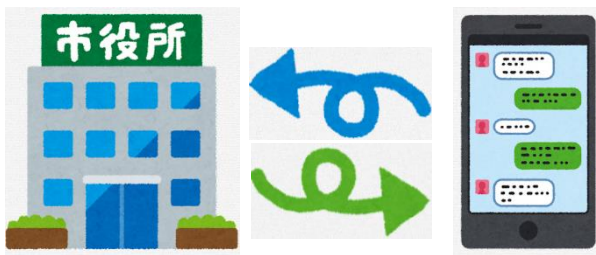
また、マイナンバーカードの普及促進のために、市内各所で、出前申請受付イベントとして申請用写真の無料撮影サービスやマイナンバーカード申請書類の作成支援を行っています。市民センターでは、マイナポータル閲覧用のパソコンを設置し、マイナポイントの申請方法が分からない方等への、操作支援なども行っています。今後も各市民センターにおいて、地域の皆様へのご支援を行っていきたくと考えております。



LINEによる住民票等証明書の交付申請

町田市では、9月1日からLINEによる、住民票など11種類の証明書交付申請サービスを開始しました。これにより、マイナンバーカードとスマートフォンを使用して、いつでもどこからでも証明書の交付申請と手数料決済を行うことが可能となります。

今後も国の承認が得られ次第、順次オンラインで申請できる種類を増やしていく予定です。



<申請に必要なもの>

- ・マイナンバーカード
(署名用電子証明書を搭載したもの)
- ・スマートフォン
- ・決済手段 (クレジットカードまたはLINE Pay)

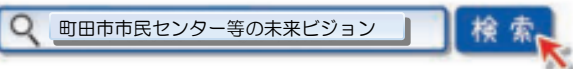
<オンラインで申請できる証明書 (11種類) >

- ①住民票関連 (3種類)
住民票、除票、住民票記載事項証明書
- ②諸証明関連 (7種類)
身分証明書、独身証明書、不在住証明書、不在籍証明書、住居表示変更証明書 (住所)、住居表示変更証明書 (本籍)、年齢証明書
- ③税証明関連 (1種類)
市・都民税課税 (非課税) 証明書 (過年度分含む)

多摩26市
で初めて

一方で、デジタル機器による手続きに不安がある方への支援や、生活に関する相談には、人と人とのコミュニケーションによる対応が欠かせないものであるため、町田市では、相談体制の充実についても検討し、実施していきます。また、デジタル化の進展や、オンライン会議の増加などによって、近年ニーズの高くなってきている、市民センター等のインターネット環境の充実に向けても取り組んでまいります。

【取り組みに関するお知らせは町田市ホームページでご覧いただけます】



市民センター等の未来ビジョンに関する詳しい情報はこちら(町田市ホームページ)をご覧ください。



※本通信は随時発行します。バックナンバーについては、町田市ホームページに掲載をしています。